

# 神戸観光局 NEWS LETTER vol.22 (2024.3.7)

## CONTENTS

- P.1 神戸観光LINK CAFE開催
- P.2 「神戸のとびら」販売プログラム募集中
- P.3 神戸ルミナリエ開催報告
- P.4 神戸おかえり旅キャンペーン実施  
福岡・東京商談会開催
- P.5 インバウンドプロモーション

- P.6 神戸フィルムオフィス通信
- P.7 MICE商談会・イベント報告
- P.8 「こうべみなとの夜」イベント
- P.9 クルーズ客船入港情報
- P.10 会員企業紹介 ～秋原珈琲様～

- ◆送付先の変更等のご連絡：経営推進部総務課  
TEL：078-230-0800 観光局サイト：<https://kobe-dmo.jp>
- ◆本ニュースレターについて：  
広報・メディアリレーション担当 TEL：078-855-4556



## 神戸観光LINK CAFE、今年度は3回開催

### 神戸の魅力再発見&人脈作りに毎回多くの会員様が参加

会員間の交流と神戸観光全体の学びを目的とする「神戸観光LINK CAFE」。2023年度は「神戸の深掘り」をテーマに、「神戸の水と灘の酒」「神戸が誇るモダン建築」「六甲山と港町神戸」と題して3回開催。会場内に会員企業のチラシ配布コーナーも設置し、会員間の交流促進、およびPRの場の提供を行っております。

毎回、会員の皆様と観光局職員を含め90名ほどが参加。回を追うごとに初めて参加する方も増えており、事業に関連する人脈作りや知識習得に活用いただいていることが伺えます。

### 2月は「六甲山」がテーマ。観光資源になりうるヒントも多数紹介

今年度最後の神戸観光LINK CAFEは、2月28日にANAクラウンプラザホテル神戸で開催。

講演では、神戸大学特命講師・小代薫さんが、居留外国人の手によって六甲山が近代レジャー発祥の地に繋がった経緯などを説明。

トークセッションでは、小代さんから布引の滝周辺の歴史遺産や今後の展開について、SHARE WOODSの山崎正夫さんからは、伐採した木々を地域で循環活用する取り組みを紹介。さらに、ROKKONOMADのヤンセン尚子さんは、六甲山での暮らしや外国人からみた神戸の魅力についても言及。それぞれの立場から、六甲山で進む取り組みや可能性についてお話しいただきました。

また、六甲山の観光資源についての認知・関心度調査の結果を神戸観光局・マーケティングディレクターの服部より発表。今後さらなる発展の可能性が見込める「お宝資源」などについて紹介しました。

初めての取り組みとして、今回はセミナー開始前にフィールドワークも企画。小代さんによるガイドで、布引の滝に訪れました。

参加した方からは「知っているようで知らないことがたくさんあり、実りある時間だった」「多くの方と知りあえる機会とともに、観光に関する情報や知識を得ることができとても良い」「調査から潜在的な誘客顧客の存在に気付けた」との感想もいただきました。

神戸観光LINK CAFEは来年度も皆様に楽しんでいただける内容を予定しています。ビジネスのヒント探しやネットワーキングに、ぜひお越しください。



ツアーでは観光コンテンツの可能性を秘めたスポットを紹介



チラシ設置は交流のきっかけ、PRの場にもなると好評

# 神戸ならではの体験ができる観光プログラム『神戸のとびら』

## 今年度は84本販売！神戸をもっと好きになってもらう体験を募集中

神戸のファン増を目的に、神戸ならではの特色を活かした着地型観光プログラムを販売するプラットフォーム『神戸のとびら』。プログラムには事業者の皆様にご提供をいただき観光局が主催するものの2種類があります。

昨年10月以降発売した今年度のプログラムは計84本。事業者の皆様主催分は39本、観光局主催分は計45本（4月までに催行予定）となります。

公式ホームページではこの春におすすめのプログラムを販売中。

事業者主催分では、陳舜臣生誕100年記念ミステリーツアー（関西芸術文化共創主催）や、「ボーイング737-800」のシミュレーター体験ができる神戸のとびら限定『憧れのパイロット体験！フライトシミュレーターで神戸を空から眺めよう！』（テクノバード主催）などのプログラム。観光局主催分では、神戸発のクラフトビール「open air湊山醸造所」見学と香り味わう4種飲み比べツアー、神戸サウナ&スパによる神戸空港屋上展望デッキでのテントサウナ体験、世界の超長距離レースで大活躍されているトレイルランナー・丹羽薫さんをお迎えしたトークと実際のランを体験するプログラムなどを紹介。『神戸のとびら』でしか体験できない特別感ある内容です。

様々な形で事業者の皆様からお力添えをいただくことで、幅広い内容の体験プログラムを提供することができ、参加者の満足度につながっております。今後も魅力的なプログラムを造成していくため、プログラムの主催はもちろん、コンテンツのご提供をいただける事業者様も随時募集しておりますので、お気軽にお声がけください。

## 今年度の人気プログラムを一部紹介

『神戸のとびら』では、グルメ、ワークショップ、アクティビティ、文化など様々な種類のプログラムを展開していますが、今年度、特に人気の高かったプログラムの傾向をいくつかご紹介します。

### ①普段見られない場所を訪れることができる特別ツアー

山から海へ土砂を運んだベルトコンベヤトンネルや、今は稼働していない苅藻島クリーンセンターを訪れる「産業遺産ツアー」など、普段非公開の場所を訪れるプログラムは、参加者からも「貴重な体験」と好評です。

（プログラム一例）

- ・ベルトコンベヤ跡を見学する「産業遺産ツアー」
- ・萌黄の館&ラインの館ナイトビューツアー（主催：㈱日比谷花壇）
- ・月に一度、限定公開している湊川隧道のガイドツアー「湊川隧道部」

### ②自分でも出来るかも！匠の技術に触れるワークショップ

イスズペーカリーのプログラムは販売開始とともに予約殺到する人気ぶり。各プログラムとも職人達が直に教えてくれる特別感に、参加者は価値を見出しているようです。また、事業者プログラムで実施いただいている神戸スイーツの有名シェフによるお菓子作り教室も毎回大人気です。

（プログラム一例）

- ・イスズペーカリー工場見学とパン作り体験
- ・スタジオKiichiの革細工ワークショップ
- ・神戸洋菓子ボックス 福原シェフによるスイーツ講習会（主催：㈱リトル神戸）

### ③シェフのお話を聞きながら神戸グルメに舌鼓！

グルメコンテンツの中でもシェフと直接お話しができたり、特別な神戸食材が提供されるプログラムは特に人気があります。

（プログラム一例）

- ・神戸を代表するブーランジェリーと共に南仏の伝統菓子「クーロンヌ・デ・ロワ」を味わう会
- ・旬の会 神戸産いちじくの旬菜会席を楽しむ会（主催：㈱神戸酒心館）
- ・神戸ポートピアホテル岸本総料理長のクッキングサロン（主催：㈱神戸ポートピアホテル）

事業者プログラムへの参画を検討中の事業者様はぜひ参考にしてください。

◆「神戸のとびら」公式HP：<https://kobe-door.feel-kobe.jp/>



open air 湊川醸造所



テントサウナ（イメージ）



プロトレイルランナー 丹羽薫さん



産業遺産ツアー（苅藻島クリーンセンター）



革細工ワークショップ（スタジオKichi）



クーロンヌ・デ・ロワを味わう会

# 新たな試みで4年ぶりに開催！

## 「神戸ルミナリエ」に当初想定を上回る約230万人が来場

震災30年の節目を迎える来年度（2024年度）の「第30回神戸ルミナリエ」を持続可能なものとするを目標として、今回は開催時期の変更、分散開催、有料制の導入など、様々な新たな試みを行いました。期間中は当初想定していた数（200万人）を超えた約230万人に来場いただき、1月の観光閑散期に人流をもたらしました。

1月に時期を変更し開催したことで、阪神・淡路大震災の追悼という趣旨にふさわしく、震災を知らない方々に改めてこの行事の目的を知っていただく機会になったと思います。

また、メリケンパーク会場を新たに設けることにより来場者の一極集中を避けたこと、神戸ルミナリエの象徴的な作品「光の回廊（ガレリア）」を初めて事前予約・有料化したことにより、以前に比べて混雑が軽減。無料エリアも長い列を作ることなく自由に見て回ることができ、全体的にゆっくりと作品を鑑賞できるようになりました。分散開催したことで、回遊性の向上にもつながり、飲食店や物販店での売り上げもアップしたとの声もありました。

これから今回実施した新たな試みの結果を検証して、より良い形で「第30回神戸ルミナリエ」につなげていきます。



4年ぶりの点灯式の様子



メリケンパーク会場



メリケンパーク会場では、ポートタワーや神戸海洋博物館のモニュメントの光と調和し、美しい光景に



旧外国人居留地会場



東遊園地会場

### 【開催結果概要】

作品テーマ	「神戸、未来に輝く光」
会期	2024年1月19日（金）～1月28日（日）10日間
点灯時間	薄暮～21:30
会場	東遊園地 旧外国人居留地 メリケンパーク
来場者数	2,298,000人（うち有料エリア来場者数：150,400人）
特別鑑賞券	前売券500円 団体券400円 当日券1,000円 小学生以下無料

# 冬の観光シーズンに『神戸おかえり旅キャンペーン』を実施

## 「ちょい飲み手帖」や「ルミナリエ公式スイーツ」が含まれた特別宿泊プランを販売

今回4年ぶりに開催した「神戸ルミナリエ」。多くの観光客に神戸に帰って来ていただきたいとの気持ちを込めて、期間限定の特別宿泊プランでもてなす冬のキャンペーンを実施！ 30以上の宿泊施設が参加するプランをじゃらんnet上で販売しました。2月には「南京町春節祭」などもあるため、期間も2月までとし、冬の観光シーズンを盛り上げました。

参加施設からは「市内施設が一体となって取り組めてよかった。閑散期対策にもなり、ありがたい」「ルミナリエとコラボできてよかった」等のお声をいただきました。

### 【キャンペーン概要】

宿泊期間：2024年1月19日(金)～2月28日(水)

特別宿泊プラン：

#### ①「ちょい飲み手帖付きプラン」

市内飲食店40店舗の「ちょい飲みセット」を集めたグルメ手帖付き宿泊プラン。アルコール等のドリンクとおすすめの料理で通常1,300円以上（税込）のセットが、全て1,100円（税込）になり、お得にはしご酒を楽しんでいただきました。

#### ②「ルミナリエ公式スイーツ付きプラン」

オシャレなルミナリエデザインの限定パッケージがデザインされた、公式スイーツ付き宿泊プラン。

#### ③「神戸おかえり旅連泊応援プラン」

連泊すると2泊目の宿泊料金が30%以上割引になるプラン。1日目は街でゆったり、2日目には海・山・温泉等にも足を伸ばして、神戸の街も自然も満喫していただきやすいようにしました。



# 福岡・東京の旅行代理店×神戸の観光事業者で商談会を開催

## 2会場で約70社の旅行会社、観光事業者が参加

2024年1月26日(金)に福岡、2月16日(金)に東京にて「神戸・姫路観光素材説明会&商談会」を開催（姫路観光コンベンションビューローと共催）。各地の旅行会社と観光事業者間で活発な商談が行われ、神戸から参加いただいた事業者の方からは「実際に旅行商品に結び付いた、こういう会を開催してもらえるのは大変有難い」という声もいただきました。

【参加者数】 ○福岡開催 神戸・姫路観光事業者22社 現地旅行代理店7社  
○東京開催 神戸・姫路観光事業者29社 現地旅行代理店10社

商談会では2024年の神戸観光6大トピックスを説明。リニューアルオープンする神戸ポートタワーや、一大レジャーゾーンに生まれ変わる須磨エリアの魅力紹介のほか、登山やスポーツツーリズムの取り組みを紹介しました。

商談会後には2会場ともに懇親会を開催し、親睦を深める機会も。来年度も多くの事業者の皆様にとって実りある会を開催できるように計画していきます。



商談風景（福岡）



専務理事より開会ご挨拶（福岡）



商談風景（東京）



懇親会（東京）



観光局から  
観光素材のご紹介  
（東京）



## 神戸ゴルフツーリズムPRセミナー&商談会 in マレーシア

神戸観光局がゴルフツーリズムに取り組み始めた2018年当初からターゲット市場の一つにしているマレーシアは、東南アジア圏でゴルフ人口が最も多い国。そのマレーシアで1月29日（月）～2月1日（木）に神戸ゴルフツーリズムPRセミナー&商談会を初めて実施。商談会には日本側から4社（ゴルフ場2場、ホテル2社）、マレーシア側から13社（ゴルフ場6場、ゴルフ専門旅行会社2社、訪日旅行会社2社、メディア2社、ゴルフ場予約サイト1社）に参加していただきました。

他国の格式あるゴルフ場と提携することは互いにとってステータスになり、またメンバーへのサービス向上（メンバーとしてコース利用ができる）につながることから、提携先を積極的に探すゴルフ場が多いこともマレーシアの特徴。足を運んでいただいたマレーシアの関係者はいずれも神戸のゴルフ場と提携し、訪日ゴルフツアーを積極的に実施したい意向を持っていました。セミナー後の各社との商談会では各ブースとも話が盛り上がり、帰国後は有力な提携話も進んでいるとの報告も。

マレーシアのゴルフ場メンバーの多くは、社会的地位が高い富裕層。彼らが日本でプレーする際は、提携先ゴルフ場を軸に周辺エリアに1週間程度滞在する行程となることが多く、連泊が望めるため、積極的に取り込んでいきたい客層です。

神戸は市街地中心部から車で1時間圏内に約100場の多種多様なゴルフ場が存在すること、アフターゴルフの観光コンテンツや宿泊施設も豊富にそろえることが強み。加えて、ゴルフ場も含め、神戸が食事対応などで、ムスリムフレンドリータウンであることもマレーシアでは好印象でした。

神戸観光局では、急増するインバウンドゴルフツアーのさらなる拡充のため、魅力を生かしたゴルフツーリズムをさらに推進させて参ります。



商談会やセミナーの様子

## ルミナリエの開催前～中にかけて、ホームページ・SNSを活用した情報発信 中国台湾から有力インフルエンサーを招聘し、ライブ配信も実施

インバウンド観光客に対し、神戸ルミナリエの認知拡大と誘客をはかるため、開催前・中に各種メディアを活用しプロモーションを実施しました。

### 【プロモーション内容】

- ・開催前に神戸公式観光サイト「Feel KOBE」内に、神戸ルミナリエの英語ページを作成し、開催概要やチケット情報を紹介
- ・上記ページへの流入を目的に、日本滞在中のインバウンド、及び在住外国人をターゲットとしてSNS広告を展開。結果、累計ページPV数：約2万を獲得、SNS広告リーチ：約17万に到達
- ・JNTOの在外事務所への情報提供を行い、タイ・ベトナム・マレーシア・シンガポール事務所の各SNSや公式ページにて、現地語で投稿を実施

開催期間中には、中国・台湾から有力インフルエンサー（中国：Weibo300万フォロワー、台湾：Facebook13万人フォロワー）を招聘し、会場の様子をライブ配信を交えながら中国語で発信を行いました。ライブ配信には、視聴者から多数のコメントが寄せられ、最高同時視聴者数は約40万人に。さらに2月に控える春節を見据え、冬でも楽しめる神戸の観光スポットを撮影しWeiboなどに投稿を行いました。

前売券を手に来場した欧米系の家族連れや、中国系の観光客による大口のチケット購入があるなど、会場では多数のインバウンドの来場報告が。インバウンド向けの情報発信の効果が少なからずあったと予想しています。



SNSでの投稿やライブ配信の様子

# ロケ誘致で身近な場所を撮影の舞台に！ 神戸フィルムオフィス通信

## 神戸市内20ヶ所以上で撮影 映画『i ai』3月8日(金)より神戸先行公開

ロックバンド「GEZAN」のフロントマン、マヒトゥ・ザ・ピーポーが初監督・脚本・音楽を手がけた作品。駆け出しのバンドメンバーが明石や神戸で過ごした青春の日々が、力強く、切なく、描かれています。また、神戸出身の俳優・ダンサーの森山未来さんはその豊かな表現力を生かし、兄貴分のバンドのボーカルとして出演されています。

ロケは中央区、兵庫区、長田区、垂水区20ヶ所以上で行われました。

### ◆映画『i ai』（アイアイ）

- ・監督・脚本・音楽：マヒトゥ・ザ・ピーポー
- ・出演：富田健太郎、森山未来、さとうほなみ、永山瑛太、小泉今日子ほか
- ・市内の公開劇場：シネリーブル神戸
- ・ロケ地：駒ヶ林、新長田、東門街、塩屋、ミナエン、穴門、神出ほか
- ・HP：<https://i-ai.jp/>



© SUTUDIO BLUE

## 映画『あまろっく』4月12日(金)より兵庫県先行公開

関西出身の豪華キャストを迎えて、“尼ロック”と呼ばれる闇門（こうもん）で守られた尼崎を舞台に繰り広げられるホームコメディ。性格も価値観も異なる3人による共同生活は、衝突と騒動の連続。家族の大切さを改めて感じさせてくれる作品です。

神戸では主人公近松優子（江口のりこさん）のメリケンパークでのデートシーンや神戸セントモルガン教会で結婚式のシーンが撮影されました。公開に合わせて神戸・尼崎のロケ地マップを神戸市総合インフォメーションセンター、市内公開劇場2館（下記）にて配布予定です。

### ◆映画『あまろっく』

- ・監督：中村和宏 ・脚本：西井史子
- ・出演：江口のりこ、中条あやみ、笑福亭鶴瓶、松尾諭、中村ゆりほか
- ・市内の公開劇場：OSシネマズ神戸ハーバーランド、kino cinéma神戸国際
- ・ロケ地：灘丸山公園、メリケンパーク、神戸セントモルガン教会
- ・HP：<https://happinet-phantom.com/amalock/>



© 2024 映画「あまろっく」製作委員会

## 映画『帰ってきた あぶない刑事』5月24日(金)より公開

テレビドラマ放映開始から38年。数多くの社会現象を巻き起こし、ドラマ&映画史上において「伝説」を作った「あぶない刑事」。

神戸では港を中心に撮影。大正15年（1926年）建設の旧住友倉庫（現在解体中）では、倉庫中央の吹き抜けを活かした派手なガンアクションシーンの撮影、コンテナバースでは鷹山（館ひろしさん）のハーレーが疾走するなどのバイク・カーアクションシーンが撮影されました。約30年前のドラマと変わらない館さん・柴田さんが活躍する「あぶ刑事（デカ）」が楽しめます。

### ◆映画『帰ってきた あぶない刑事』

- ・監督：原廣利 ・脚本：大川俊道、岡芳郎
- ・出演：館ひろし、柴田恭平、土屋太鳳、早乙女太一、深水元基ほか
- ・市内の公開劇場：OSシネマズミント神戸、109シネマズHAT神戸
- ・ロケ地：旧住友倉庫、ポートアイランドコンテナバース
- ・HP：<https://abu-deka.com/>



© 「帰ってきた あぶない刑事」製作委員会

# 姉妹都市バルセロナでMICEのネットワーキングイベント開催

## 世界のMICE主催者、現地メディアら約30名へ神戸の魅力を発信！

昨年は神戸市とスペイン・バルセロナ市の姉妹都市30周年。それを記念し、神戸コンベンションビューローでは11月にMICE主催者や現地メディアの方々を招待したネットワーキングイベント“Meet Kobe in Barcelona”（ミート・コウベ・イン・バルセロナ）を開催しました。全世界から参加者が集まる海外MICE見本市“ibtm world”に合わせて実施したことで、欧米豪、アジア圏のMICE関係者に参加いただき、神戸の魅力を深くPRすることができました。

- 【実施概要】 開催日程：2024年11月27日（月）  
場 所：ヤシマ（バルセロナの老舗日本料理店）  
参加者：約30名（MICE主催者・旅行代理店・現地メディア等）  
内 容：①灘の酒セミナー  
②日本酒と和食のペアリング  
③ネットワーキングイベント

## 日本一の酒処で生まれた灘の酒と食のペアリングを体験し「新しい世界を発見」

イベントでは、日本一の酒どころ「灘五郷」についてのセミナーを実施。日本の美食に関するリファレンスウェブサイトである [ComerJapones.com](http://ComerJapones.com) の創設者兼ディレクターであり、農林水産省より日本食海外普及功労者賞を受賞されたロジャー・オルトゥーニョ氏を講師に迎え、酒造りの工程や神戸で酒造りが発展した理由・歴史・「灘の酒」の特徴などについて詳しく紹介していただきました。

灘の酒の大きな特徴は、さまざまな料理に合わせて楽しむことができる「食中酒」である点。その魅力を体験してもらおうと、スペインでは入手できないお酒を含む9種類の灘の酒と、バルセロナの名物料理を和風にアレンジした料理のペアリングも実施。また、神戸ビーフと灘の酒のマリアージュもお楽しみいただきました。

事前に料理の試作を重ねた甲斐あって、参加者はスペインのエッセンスを取り入れた創作和食と灘の酒の組み合わせに舌つづみ！「新しい世界を発見した」「趣向を凝らしたグルメとお酒のマリアージュを楽しんだ」などの感想をいただき、現地メディアにも灘の酒や神戸の食の魅力、また神戸でMICEを開催することの魅力について紹介されました。参加した旅行代理店が、後にインセンティブツアーで来神してくるなど、つながりも生まれています。



左・中) ビューローから神戸の紹介を行ったあとは、灘の酒セミナーで奥深い日本酒の魅力を紹介 右) レストラン・ヤシマのスタッフも神戸の法被を着て盛り上げ中

イベントの翌日は、同じくバルセロナで開催された海外MICE見本市“ibtm world”に出展。一般の来場者との商談20件に加えて、イベントの参加者やメディアの方々も多く神戸ブースを訪れていただき、充実した見本市となりました。近年、海外のMICE主催者からは、MICE施設やホテルなどと英語で直接やり取りを望む例が増えており、今回の見本市でも同様の要望が多数ありました。

神戸コンベンションビューローは、引き続き国内外のMICE誘致に向けて神戸の魅力をPRしていきます。



世界150ヶ国から2550の出展社、約4000名のバイヤーが来場する見本市

## 官民一体の組織「こうべみなとの夜実行委員会」が企画・開催

ウォーターフロントの夜の賑わいづくりとして、誘客やナイトタイムエコノミーの推進を目的に、花火やイルミネーションイベント等を実施している「こうべみなとの夜実行委員会」。神戸観光局港湾振興部が事務局を務める官民一体の組織で、神戸市港湾局、神戸商工会議所、（公財）神戸海事広報協会、（株）神戸新聞社、（株）サンテレビジョン、（株）ラジオ関西の7団体で構成されています。

今回は「こうべみなとの夜実行委員会」が主催する事業から、3つのイベントを紹介いたします。



「こうべみなとの夜」ホームページが開設されました！

こちらのURLからご確認ください。

<https://kobe-minatonoyoru.com/>

### ●みなとHANABI—神戸を彩る5日間—

10月の涼しい時期にお届けする分散型花火イベント。2023年度は10月16日（月）～10月20日（金）に開催し、「心に残る10分だった」「涼しい風に吹かれて素敵な時間を過ごせました」等の温かいコメントをいただきました。

<2023年度実績>

- ・音楽と花火を楽しむ「音楽花火」  
→募集により、5日間で15曲が選曲
- ・7万8000人来場（5日間累計）



### ●ライトフェスティバル「メヤメヤ」

冬のウォーターフロントを彩るイルミネーションイベント。2023年度は12月20日（水）～29日（金）に実施。令和のいい話（わ）/Good Storyをテーマに、陸に近い生命の連なりを感じる「海の浅瀬あたり」の世界を、メリケンパークで演出。光、音、映像で盛り上げました。

<2023年度実績>

- ・来場者数約16万人（エリアプログラム含む）
- ・花火やドローンショーの実施



### ●バレンタインライトアップ in メリケンパーク

現在開催中！

バレンタイン特別企画として、メリケンパーク期間限定ライトアップを2月9日（金）～3月14日（木）に実施。

ホワイトデーまでの期間中、多くの方にメリケンパークに足を運んでいただけるよう、フォトスポットや通り抜けられるイルミネーションアーチの設置等の仕掛けを行っています。

#### ・フォトスポット・ハートフレームチェア

ハートフレームチェアに座り、新しくなったポートタワーと特別なライティングをバックにパシャリ。大切な思い出の1枚を撮ることができる新たなフォトスポットを作りました。



#### ・神戸光の星空ストリート

BE KOBÉモニュメントに続く通路にアーチ型のイルミネーションを設置。きらめく星空の下、幻想的なアーチを抜けると、みなとの夜景に浮かぶBE KOBÉが登場します。



# クルーズ客船の入港情報

## 春はクルーズに人気のシーズン、神戸港では客船の入港ラッシュが始まります！

春はクルーズ客船の入港ラッシュシーズン。国内外のクルーズ客船が多数寄港を予定し、多くのクルーズ客が神戸を訪れます。

3月は「ザイデルダム」「アルタニア」「リビエラ」「コスタ・デリチョーザ」「ル・ジャック・カルティエ」の5隻が初入港！また、7年ぶりに「オイローパ」、11年ぶりに「アザマラ・ジャーニー」が入港を予定しています。

ターミナルでは臨時観光案内を行うなど、受け入れ態勢を整備。また、入出港時の歓送迎イベントも企画し、歓迎ムードで出迎えます。



EUROPA (28,890総トン)

### クルーズ客船入港予定 (3月)

船名	総トン数	バース	入港		出港		前港	次港
ZUIDERDAM *	82,305	S-4Q1/Q2	3月2日(土)	9:00	3月3日(日)	17:00	御前崎	博多
にっぽん丸	22,472	NAKA-BC	3月4日(月)	9:00	3月4日(月)	17:00	二見	名古屋
EUROPA	28,890	S-4Q1/Q2	3月5日(火)	14:00	3月6日(水)	23:59	別府	東京
ARTANIA *	44,697	NAKA-BC	3月6日(水)	8:00	3月7日(木)	19:00	蒲郡	高知
SEVEN SEAS EXPLORER	55,254	S-4Q1/Q2	3月8日(金)	12:00	3月9日(土)	19:00	清水	高知
NORWEGIAN JEWEL	93,502	S-4Q1/Q2	3月14日(木)	8:00	3月15日(金)	17:00	名古屋	那覇
飛鳥II	50,444	NAKA-BC	3月15日(金)	9:00	3月15日(金)	17:00	別府	神戸
RIVIERA *	66,172	S-4Q1/Q2	3月16日(土)	6:30	3月17日(日)	16:00	那覇	清水
飛鳥II	50,444	NAKA-BC	3月17日(日)	8:30	3月17日(日)	17:00	神戸	横浜
SEVEN SEAS EXPLORER	55,254	S-4Q1/Q2	3月20日(水)	10:00	3月21日(木)	19:00	名古屋	高知
COSTA DELIZIOSA *	92,720	S-4Q1/Q2	3月25日(月)	10:00	3月25日(月)	21:00	ラバウル	長崎
WESTERDAM	82,862	S-4Q1/Q2	3月27日(水)	8:00	3月28日(木)	20:00	高知	横浜
INSIGNIA	30,277	NAKA-BC	3月27日(水)	11:00	3月28日(木)	18:00	清水	広島
PACIFIC WORLD	77,441	S-4O1/O2	3月28日(木)	6:00	3月28日(木)	13:00	深圳	横浜
RIVIERA	66,172	S-4Q1/Q2	3月29日(金)	6:30	3月30日(土)	16:00	別府	清水
AZAMARA JOURNEY	30,277	S-4O1/O2	3月30日(土)	6:00	3月31日(日)	13:30	高松	清水
LE JACQUES CARTIER *	9,988	NAKA-BC	3月30日(土)	8:00	3月31日(日)	6:00	喜界島	犬島

神戸ポートターミナル：S-4Q1/Q2 S-4O1/O2 中突堤旅客ターミナル：NAKA-BC \*：初入港

※スケジュール・バース・イベント等は予告なく変更・追加されることがありますのでご注意ください。

※神戸港へのクルーズ客船の入港予定や歓送迎イベント予定は「神戸市ホームページの客船入港予定」をご覧ください。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a14075/kanko/leisure/harbor/passenger/schedule/index2020.html>

### 神戸港クルーズセミナーを開催

神戸港では、昨年3月よりコロナ禍でストップしていた国際クルーズの受け入れを再開。2023年は57隻の外国客船が入港し、今年も多数の客船の入港が見込まれています。そんな中、神戸市客船誘致協議会・神戸港振興倶楽部の会員様のクルーズ客船に関する知識を深め、現状を共有することで、今後の業務にお役立ていただくことを目的に「神戸港クルーズセミナー」を開催しました。同セミナーは、神戸市客船誘致協議会と神戸港振興倶楽部の共催で、1月17日にメリケンパークオリエンタルホテルにて開催し、約70名の方にお越しいただきました。



『客船のまち・神戸の発展に今必要なことは～クルーズ関連業界の視点から～』セミナーでは、神戸市港湾局振興課(客船誘致担当) 瀬沢課長より、神戸港における客船受入状況や、誘致活動について説明。その後、日本国際クルーズ協議会 副会長 糸川雄介氏、郵船クルーズ株式会社 常務執行役員 高橋幸男氏、株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル クルーズ営業部長 藤田宗則氏の3名を講師に迎え、外国船社、日本船社、寄港地観光の手配等を行うランドオペレーターの各視点から、今後の課題や神戸への期待についても触れながら講演いただきました。

参加者アンケートでは「クルーズに関する見識が深まった」「今後の業務の参考になった」などのコメントをいただき、セミナーに関して「満足」と評価いただきました。

## 創業96年の老舗珈琲会社が挑む、資源循環型社会

## 炭火焙煎へのこだわり

萩原珈琲では、初代社長が1950年から始めた炭火焙煎が今に至るまで大切に続けられています。炭火から出る遠赤外線によって豆の中心まで熱が伝わり、焼きムラも少ない事から、冷めても酸っぱくならない「入れたての味」が楽しめるそうです。炭火焙煎を行うには燃料や人件費がかかるうえ、マニュアル化する事が難しいため、時間をかけて焙煎師を育てる必要があります。焙煎師は五感を駆使して、音を聞き、色を見て炭の量や時間、空気の量を調整するそうです。萩原英治 代表取締役は「喫茶店で熱いコーヒーを一気に飲むことって、あんまりないですよね。喫茶店は時間を楽しむ場所なのに、最後の冷めたコーヒーが飲みにくいと、もったいないと思うのです」と、炭火焙煎の重要さを語ります。



厳選された豆を炭火で丁寧に焙煎

## 社員はデコボコ、地位はフラットに

萩原珈琲の神髄とも言える炭火焙煎を担う焙煎師は「人事異動で決まるんですよ」と、萩原さん。社員とは徹底的に面談を行い「自分の好きな事」と「自分の個性」を文字化することに力を入れているそうです。

焙煎師に向くのは「苦手な事はあるが、得意分野ではすごい力を発揮する人」。製造、営業、販売...それぞれの仕事に合う特性があるといえます。いろいろな特性を持つ社員がお互いの仕事を可視化して認め合うとともに、例えばデジタル分野が得意な社員には「デジタル担当」と会社が認めることで、ベテラン社員にもアドバイスができるような風通しの良さを作り出しているのです。



焙煎工場で日々、炭と向き合う焙煎師

## 廃棄する麻袋を活用する「ほるもんプロジェクト」

萩原珈琲は世界11ヶ国からコーヒー豆を輸入しています。豆は60kg入りの麻袋に入っていて、年間で2500~3000枚の麻袋をリサイクル業者に渡していました。その後の使われ方が分からないのは無責任との意識から、捨てる（ほる）物（もん）を活用する「ほるもんプロジェクト」が社内有志によって行われています。

プラスチック製の育苗ポットやプランターを100%天然素材の麻袋にすることによって、そのまま植えても土に還ります。この活動は地域の児童館とともに取り組まれています。また麻袋でガーランドを作るワークショップを行い、子供達に世界の地理やごみ問題を学ぶ機会も作っています。「遊びを通じて仕組みを作る。楽しいと思えると続く。」と萩原さんは語ります。



コーヒー豆の麻袋で作られた育苗ポット

## 焙煎に使う炭を100%国内産に

2020年3月時点では100%海外製だった炭を100%国産にする目標を掲げ、2021年9月に達成。しかし達成に至るまでは、社内調整も必要でした。コストの高い国内産を使用するために、備長炭とオガ炭（製材などの過程で出るおが粉を成型し炭化）の割合を変えながらシュミレーションを繰り返し、「こうでなくてはならない」という固定観念を社員とともに乗り越えた結果、海外からの輸送時に排出されるCO2の削減だけでなく、炭の生産地との交流が生まれ、双方の産業の維持にも繋がるという効果も生まれました。

## 取材を終えて

萩原珈琲の店頭でコーヒー豆を買い「レジ袋不要」と言えば30gのコーヒー豆の小袋をいただくことがあります。「焙煎後72時間を超えたら出荷しない」自社ルールから、超えた豆が「豆ガチャ特典」として提供されているのです。商品の品質への強いこだわりと、それをフードロスにせずお客様へのサービスに利用し、みんなが嬉しい循環を実現されている事に、肩ひじ張らないSDGsの姿を感じます。

広報・メディアリレーション 松下麻理



代表取締役 萩原英治氏

問い合わせ先：萩原珈琲(株)

<https://www.hagihara-coffee.com/>